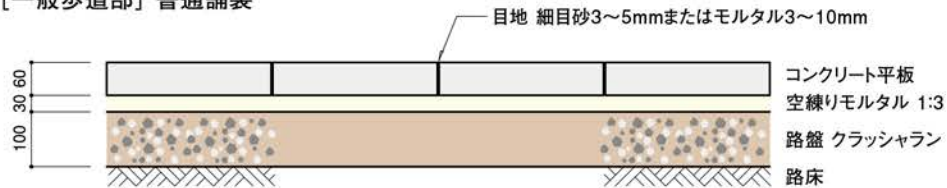


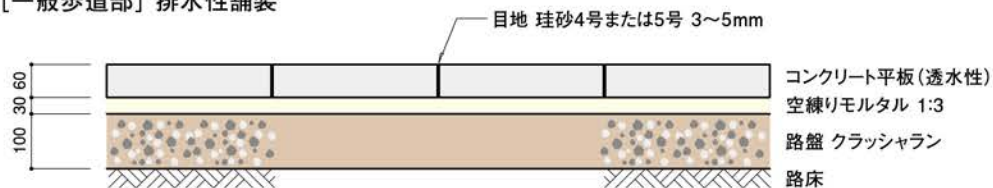
## ペイメント

舗装用コンクリート平板施工断面 (「舗装用コンクリート平板施工標準仕様書」に準拠)

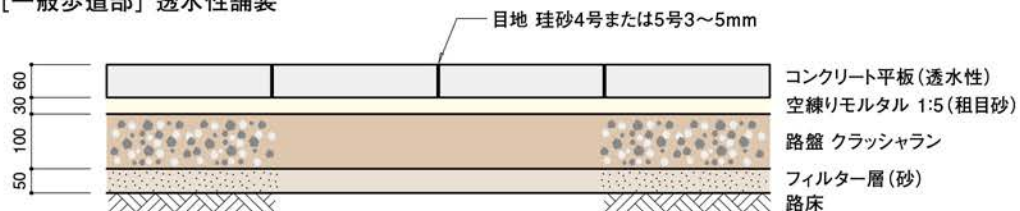
### [一般歩道部] 普通舗装



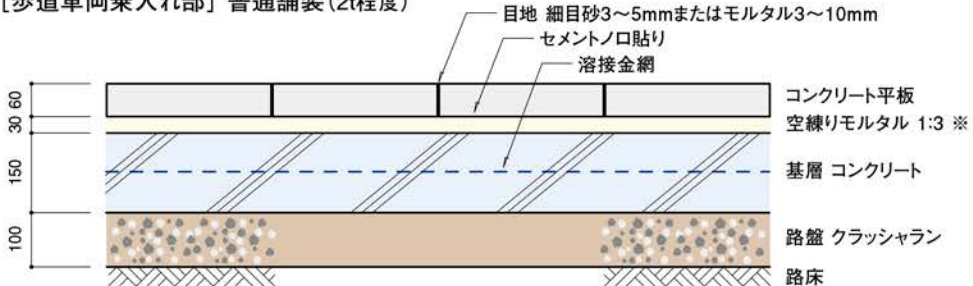
### [一般歩道部] 排水性舗装



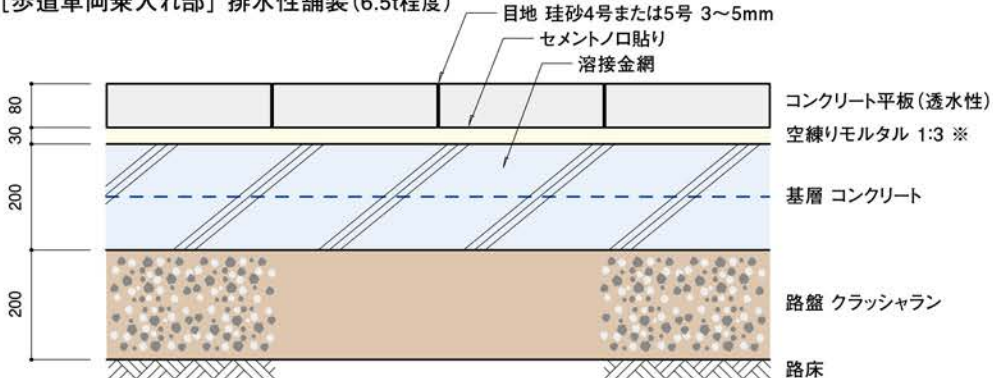
### [一般歩道部] 透水性舗装



### [歩道車両乗入れ部] 普通舗装(2t程度)

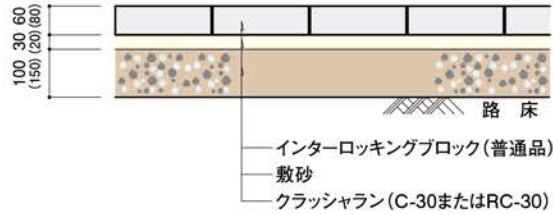


### [歩道車両乗入れ部] 排水性舗装(6.5t程度)



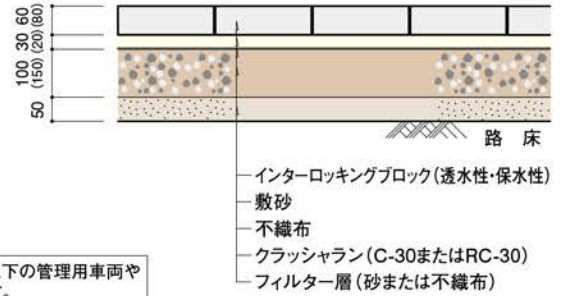
※モルタルを使用する場合もあります。

[歩行者系道路] 普通品・保水性  
(透水係数 $1.0 \times 10^{-2}$ cm/sec未満)

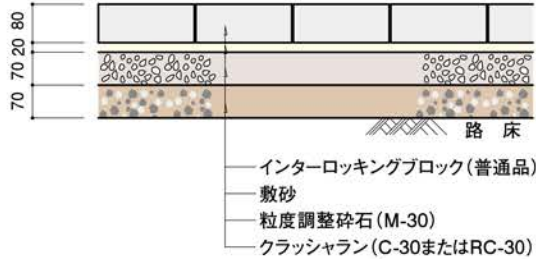


注:( )内の寸法表示は、歩行者や自転車以外に最大積載量39kN(4t)以下の管理用車両や限定された一般車両の通行する歩行者系道路に適用するときの厚さを示す。

[歩行者系道路] 透水性・保水性  
(透水係数 $1.0 \times 10^{-2}$ cm/sec以上)

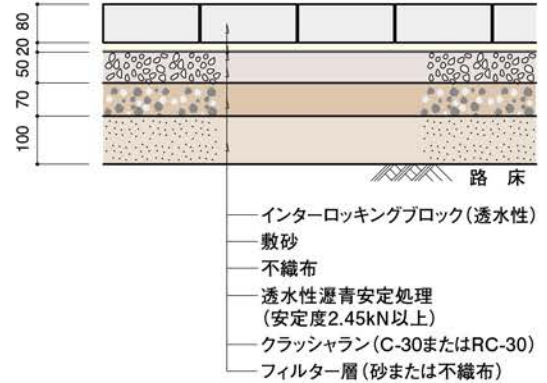


[歩道車両乗入れ部] 普通品の例



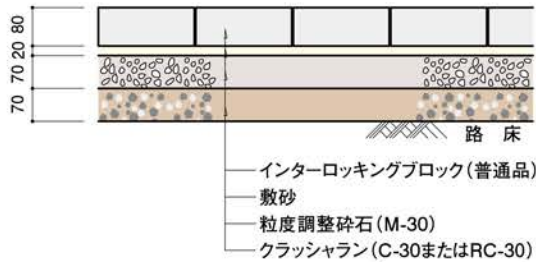
乗用車、小型貨物自動車1日当たり300台未満の乗入れ。

[歩道車両乗入れ部] 透水性の例



路床が砂質系で地下へ浸透させる場合、あるいは集水管・放流孔で排水する場合。

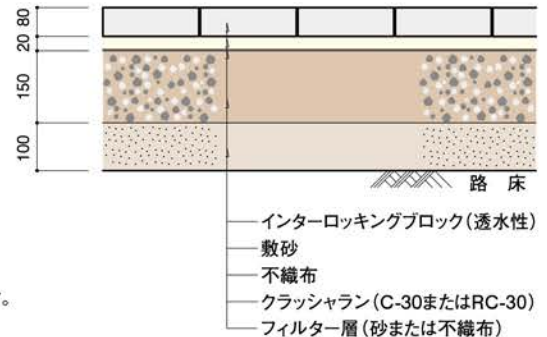
[消防自動車乗入れ部] 普通品



※粒度調整碎石層を用いずクラッシャーラン層(t=15cm)とすることも可能です。

車道・駐車場(大型車主体)・歩道の車両乗入れ部(大型車主体)・消防車両乗入れ部については、曲げ強度で5MPa以上が必要となります。

[消防自動車乗入れ部] 透水性(区分Aの例)



※区分Aは、砂質系で路床下へ浸透させる場合、あるいは集水管・放流孔で排水する場合を指します。  
※上層路盤に透水性瀝青安定処理層(t=5cm)、下層路盤にクラッシャーラン層(t=7cm)を用いることも可能です。  
※再生砂、山砂及びシルト含有の敷砂は適しません。